

## 【回答者：町長】

Q： 私は何年も前から町の図書を利用しています。

きわめて単純な事柄ですが、図書利用を通じて教わったことなど町長さんにお知りおきいただき、ささやかなご配慮などいただければと思います。

図書利用の人口が極めて少ないのが現実だと思います。これを拓げるにはどうしたらいいか、ここに行政の生きる道があるかと思います。社会情勢を背景に高齢化が進み、図書人口の高齢化が考えられます。おのずと本の購入業務の枠付けがこれに合わせて考えられます。

次に、図書館運営の基本について御高見賜ります。いちばん視線が行くことは、図書購入の方法、図書購入の狙いなどです。担当者の識見教育と向上心の啓発、これなど大切だと思います。

どんな図書を重点的に買い整えていくのか、年代的構成はどうするのか。図書館の運営は非常に多岐に渡っているようです。

専門家の考案した書籍も確かに在るはずですが、特色を考えた運営の在り方と町長独自のアイデア等、とても間口は広くありそうですね。

以上が私なりに考えついた一考案を述べ、御高配を期待して止みません。

(80代 男性)

A： 図書館をご利用いただきありがとうございます。確かに図書館利用者は少ないのが現実だと思います。利用者はその年代において、図書選択も様々だと思いますが、できるだけ選書範囲を広げ増書してまいります。図書は、子供から大人までの幅広い分野となりますが、幼児用絵本、子供用伝記、図鑑、専門書、古典、小説、歴史等様々な種類のものを取り揃え、新刊案内により工夫しながら図書利用者を促したいと考えます。さらには館内における読書スペースの確保、選書案内など、サービスに努めていきたいと考えます。可能であれば移動図書館も検討していきたいと思います。選書にあたっては、県立図書館などの指導・助言、図書館流通センターの活用、各種受賞作品など参考に購入しています。また、町名誉町民であります新田正夫様からの図書寄贈コーナーも設置してありますので、ご利用いただけるよう町民の皆さんに情報提供してまいります。

回答日： 平成25年4月15日 担当課： 教育課